

輸出事業計画

※申請者名：全農宮城県本部、品目：いちご

1. 輸出における現状と課題

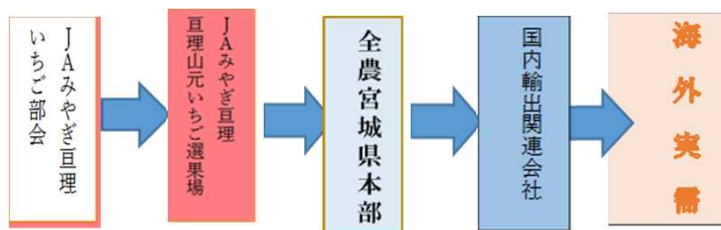
【現状】

- ・以前から、全農インターナショナル（株）等と連携し「仙台いちご」輸出に取り組んでいる。
- ・海外マーケットでの産地間競争が激化している中、宮城県のいちごは、九州等では品質が安定しない暖候期の出荷が可能であるメリットを活かし、品質面で他産地と差別化した販売戦略を行っている。

【課題】

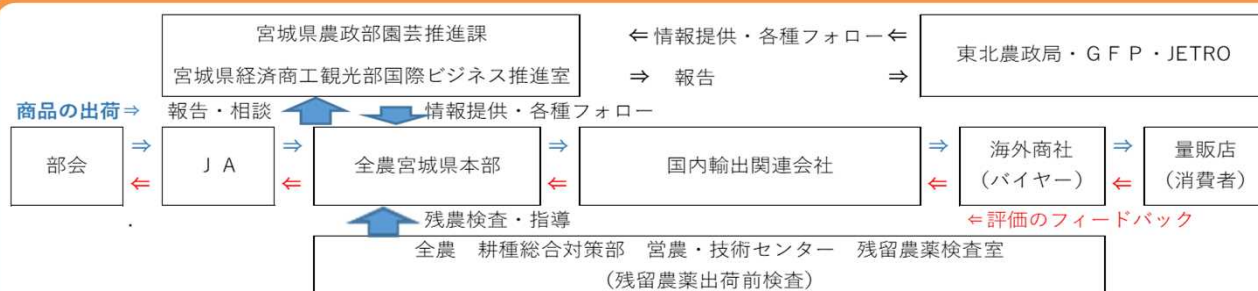
- ・生産者の高齢化が進んでいることから、後継者を育成するとともに生産量を維持・拡大させることが必要。
- ・輸送ロスの削減（船便輸送の場合、新型コロナウイルス等の影響により到着遅延による品質劣化が発生し易い）。
- ・新規輸出先及び既存の商流以外の販路開拓。「仙台いちご」ブランドの海外での知名度向上。

2. 輸出事業計画の取組内容



- ・JAみやぎ亘理及びJAみやぎ亘理いちご部会との連携により、宮城県産「仙台いちご」の輸出に取り組む。
- ・宮城県他関係機関との連携及び指導により、相手国の防除基準に対応して輸出拡大を進める。
- ・航空便活用による輸送時間の短縮を図るとともに、国内空港への輸送は、国内流通品との混載輸送によりコスト削減を図る。
- ・関係機関と情報交換を密に行い、PDCAによる事業効果（輸送資材・輸送方法・PR等）の検証を行う。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

		現状 (令和2年度)	目標年 (令和7年度)
全農宮城県本部 (JAみやぎ亘理)	輸出額 (円)	2,580,000	4,200,000
	輸出力 (t)	1.55 t	2.52 t
	輸出先国	香港	香港・タイ・シンガポール・台湾
	取扱量 (t)	2,221 t	2,315 t